

先史時代の年表

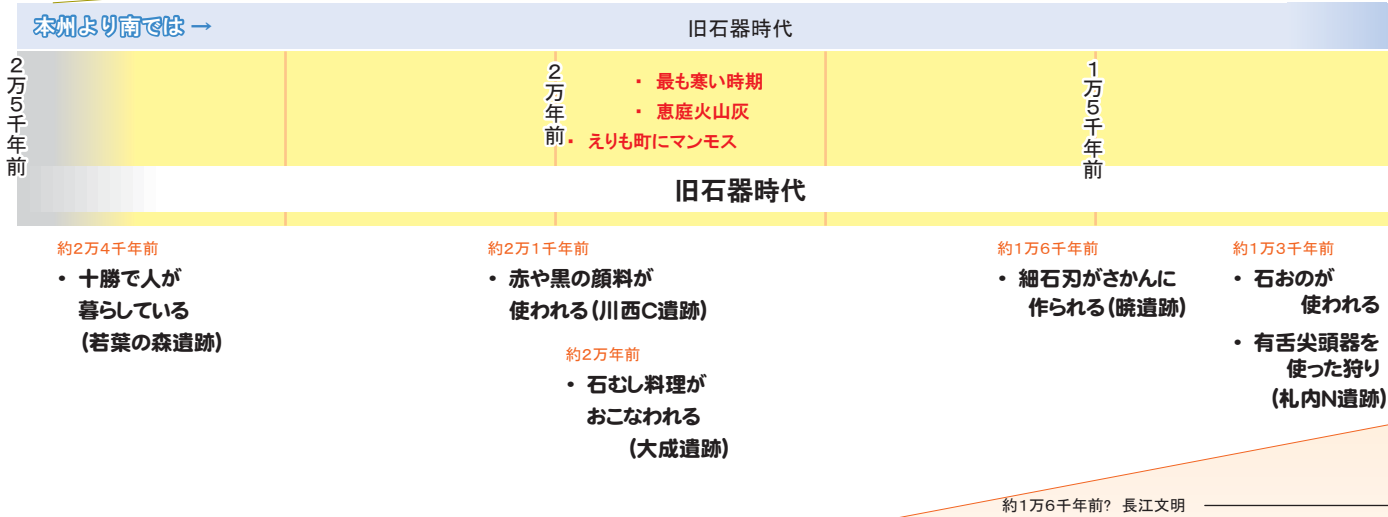
今のところ、十勝最古の遺跡は2万4千年前以前のものです。その後、最古の土器が出てくるまでに1年以上の年月がかかっています。

12万年前から今までの年表

| | | | | | | |
|-------------------------|-------|-------|------|---------------------|---|------|
| 12万年前 | 11万年前 | 10万年前 | 9万年前 | 8万年前 | 7万年前 | 6万年前 |
| 忠類のナウマンゾウ ^{※1} | | | | 最終氷期始まる (~約1万年前) | 北海道、サハリンと (そして大陸と)つながる (~約1万2千年前) | |

最終氷期

2万5千年前から今までの年表



6千年前から今までの年表



2,500年前ころ、本州以南では、鉄器と稲作が大陸から伝わり広がったことによって「弥生時代」に入っていきます。

しかし北海道では、縄文時代の文化を受けつぎ、狩り・魚とり・木の実や山菜採り、といった、自然の中から食料を得ることを中心とした生活が続いていきます。

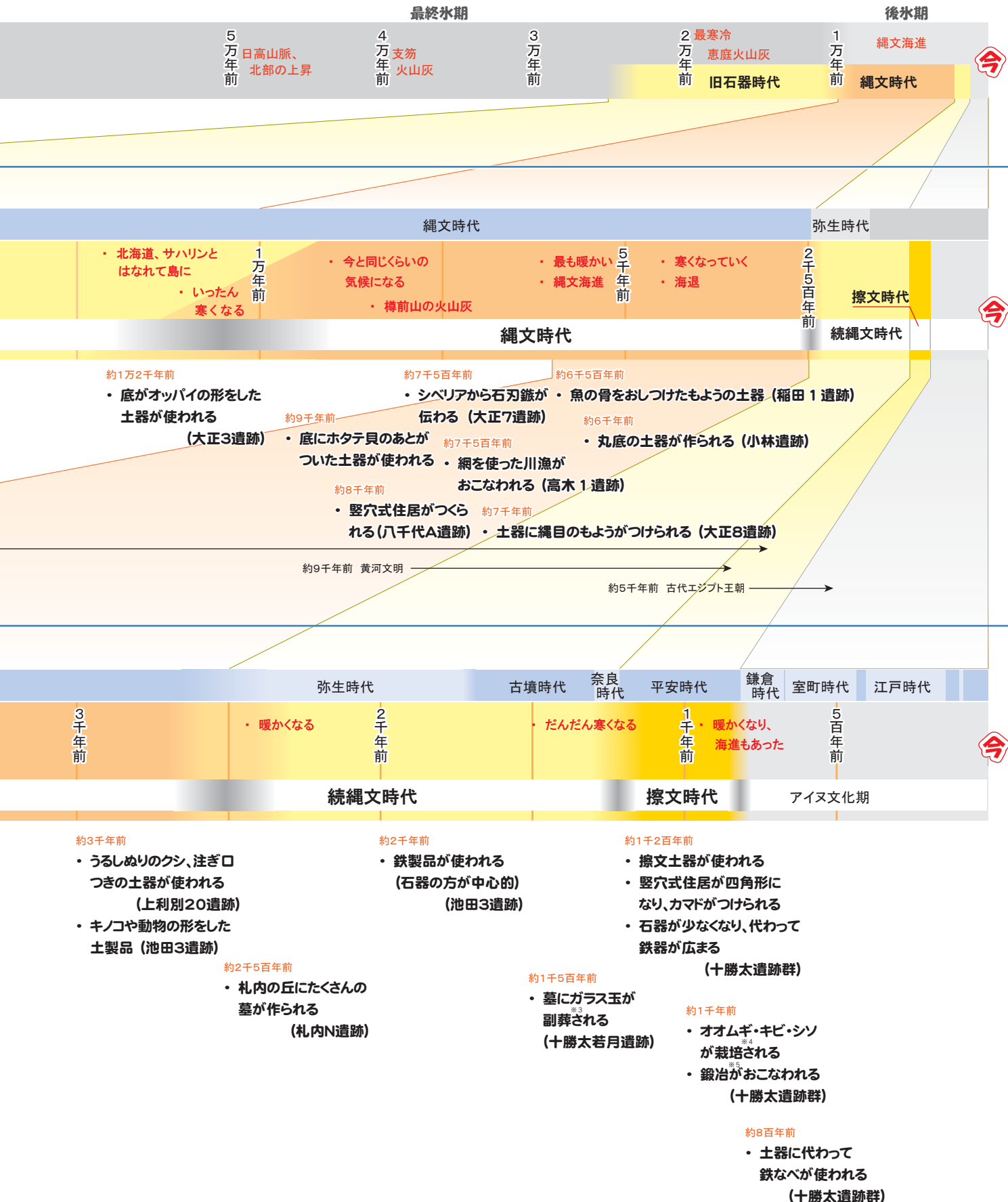
そのため、北海道の歴史については、いわゆる日本史とは異なった時代区分がなされています。

縄文時代に続く時代が、「続縄文時代 (～およそ1,200年前)」、「擦文時代 (～およそ800年前)」、「アイヌ文化期 (明治に開拓が進むまで)」というように分けられているのです。

※1 忠類のナウマンゾウ(ちゅうるいのナウマンゾウ): 忠類ナウマンゾウの年代については、12万年前より少し古いという考え、あるいはひとつ前の間氷期(かんびょうき)であるミンデル-リース間氷期(約40万～20万年前)だという考えもある。

※2 左岸(さがん): 川の下流に向かって左側の岸のこと。右側が右岸(うがん)。

第1章 十勝の平野や川ができたのはいつ
第2章 先史時代と川
第3章 アイヌ文化と川
第4章 十勝開拓と川
第5章 発展、今、そして未来へ
用語 さくいん



第1章 十勝の平野や川ができたまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語 さくいん

※3 副葬(ふくそう): 亡くなった人の亡きがらといっしょに、生きていたころの愛用品などを埋葬(まいそう)すること。
 ※4 栽培(さいばい): 穀物(こくもつ)や野菜、木、花などを植えて育てること。
 ※5 鍛冶(かじ): 鉄などの金属を熱してたたくことで、形を整えじょうぶにして(=きたえて)、器具を作ること。